

廣田康生 教授 履歴・業績

廣田康生 教授 履歴・業績

履 歴

1949年 1月 宮城県生まれ

〔学歴〕

1973年 3月 立教大学経済学部卒業

1981年 3月 立教大学大学院社会学研究科応用社会学専攻博士課程前期課程修了（社会学修士）

2006年 9月 博士（社会学）立教大学

〔職歴〕

1973年 4月 神奈川新聞社編集部（1976年 3月まで）

1983年 4月 藤村女子高等学校非常勤講師（1986年 3月まで）

1985年 4月 立教大学社会学部非常勤講師（1989年 3月まで）

1988年 4月 専修大学文学部専任講師

1990年 4月 専修大学文学部助教授

1992年 4月 専修大学大学院文学研究科修士課程担当

1994年 4月 専修大学大学院文学研究科博士後期課程担当

1996年 4月 専修大学文学部教授

2003年 4月 長期在外研究員（アメリカ・ボストン大学）（2004年 3月まで）

2009年 4月 国内中期研究員（2009年 9月まで）

2010年 4月 専修大学人間科学部教授（文学部改組及び人間科学部新設に伴い異動）

2010年 4月 人間科学部社会学科長（2012年 3月まで）

2013年 4月 大学院委員会委員（2015年 3月まで）

2015年 4月 大学院文学研究科長（2016年 3月まで）

2019年 3月 専修大学人間科学部 定年退職

*この間、武蔵大学人文学部（1990.4～2001.3）、北海道大学大学院教育社会学研究科（1994.7）、武蔵大学大学院人文科学研究科（1995.4～2000.3）、横浜市立大学大学院経済学研究科（1998.3）、東京都立大学人文学部（1998.2002.3）、立教大学社会学部現代文化学科（2004.4～2006.3）、立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科（2006.4～2006.3）、立教大学大学院社会学研究科（2006.4～2016.3）及び法政大学社会学部の各大学において非常勤講師等を務める。

〔学会ならびに社会における活動〕

1999年 7月 日本都市社会学会常任理事・編集委員長（2001年 7月まで）

2001年 7月 日本都市社会学会理事（2003年 9月の大会まで）

2005年 9月 日本都市社会学会常任理事・事務局担当（2007年 9月まで）

2006年 9月 日本都市社会学会「学会賞（磯村英一）賞・若手奨励賞」選考委員長（2008年 9月まで）

2015年 9月 日本都市社会学会会長（2017年 9月まで）

*この間、地域社会学会理事、学会賞選考委員など。

〔学会賞〕

- 1997年7月 第1回日本都市社会学会賞・磯村記念賞受賞（単著『エスニシティと都市』有信堂）
2017年5月 第10回地域社会学会賞共著部門賞受賞（広田康生・藤原法子共著『トランスナショナル・コミュニティ—場所形成とアイデンティティの都市社会学』ハーベスト社）

業 績

〔著書・共編著・共著〕

- 1994年3月 『外国人居住者と日本の地域社会』（編：奥田道大・広田康生・田嶋淳子）「Ⅳ 日系人家族の生き方」「Ⅴ 外国人児童・生徒のアイデンティティの行方」（藤原法子と共著）「Ⅵ アジア系新移民調査研究の視点」執筆（明石書店）
- 1995年9月 『21世紀の都市社会学 コミュニティとエスニシティ』（編：奥田道大）「エスニック・ネットワークの展開と回路としての都市」執筆（勁草書房）
- 1996年1月 『講座外国人定住問題3 多文化主義と多文化教育』（駒井洋監、編：広田康生）「第1章 総論—多文化化する学校・地域社会」執筆（明石書店）
- 1997年7月 『エスニシティと都市』（単著）第1回日本都市社会学会賞・磯村英一記念賞受賞作品（有信堂）
- 1997年7月 『都市エスニシティの社会学』（編：奥田道大）「都市エスニシティとコミュニティ都市社会学的認識の一様相」執筆（ミネルヴァ書房）
- 2001年11月 『国際化とアイデンティティ』（編：梶田孝道）「エスニック・ネットワークの展開と地域社会変容」執筆（ミネルヴァ書房）
- 2003年2月 『都市的世界／コミュニティ／エスニシティ』（編：渡戸一郎・広田康生・田嶋淳子）「越境する知と都市エスノグラフィ編集—トランスナショナリズム論の展開と都市的世界」執筆（明石書店）
- 2003年2月 『海外における日本人、日本のなかの外国人』（編：岩崎信彦、ケリ・ビーチ、宮島喬、ロジャー・グッドマン、油井清光編）「越境移動者とホスト社会との共存が提起するもの」執筆（昭和堂）
- 2003年11月 『新版 エスニシティと都市』（単著）有信堂
- 2006年5月 『地域社会学講座2 グローバリゼーション／ポストモダンと地域社会』（古城利明監、編：新原道信・広田康生）「トランスナショナリズムの展開がもたらす地域社会の現代的課題」執筆（東信堂）
- 2006年11月 『先端都市社会学の地平』（奥田道大・松本康監、編：広田康生・町村敬志・田嶋淳子・渡戸一郎）「政治理念としての共生をめぐる秩序構造研究の序論」執筆（ハーベスト社）
- 2010年3月 『専修大学社会科学研究所科学研究叢書12 周辺メトロポリスの位置と変容』（編：柴田弘捷・宇都築子）「アジア都市川崎の多文化・多民族経験」執筆（専修大学出版局）
- 2010年9月 『多民族化社会・日本』（編：渡戸一郎・井沢泰樹）「地域社会の多文化・多民族化—トランスナショナリズムと場所研究」執筆（明石書店）
- 2016年3月 『トランスナショナル・コミュニティ—場所形成とアイデンティティの都市社会学』（広田康生・藤原法子編）「第1章 トランスナショナル・コミュニティ研究の認識論」他2章、4章、5章、6章他執筆（第10回地域社会学会賞共著部門賞受賞）（ハーベスト社）

〔論文〕

- 1984年3月 「新都市社会学（New Urban Sociology）の研究動向と課題—シンポジウム『マルクスと都市』に寄せて」『応用社会学研究』No.25、立教大学社会学部研究紀要
- 1984年3月 「都市社会学と住民組織—再編期の『制度』に関する一考察」『応用社会学研究』No.26、立教大学社会学部研究紀要
- 1985年10月 「米国都市社会学研究の一動向—都市危機をめぐる『都市社会学論争』に寄せて」『地域社会学年報第3集 行政と地域社会』地域社会学会
- 1986年3月 「地域関与の一位相と都市社会研究への示唆—大都市第一次ベビーブーム世代の意識調査を手懸かりにして」『応用社会学研究』No.27、立教大学社会学部研究紀要
- 1986年9月 「大都市第一次ベビーブーム世代の生活実態と意識の諸相」『地域開発』No.264、日本地域開発センター
- 1988年3月 「都市における地域社会的秩序の一位相—東京・東池袋の事例分析を手掛かりにして」『応用社会学研究』No.29、立教大学社会学部研究紀要
- 1989年2月 「大都市における居住機能の再編と地域的世界の変容—特に問題整理と課題導出を中心にして—」『専修大学社会科学研究所月報』No.307、専修大学社会科学研究所
- 1989年4月 「『地域研究』への一認識—方法論的諸前提に関する私的整理ノート」『専修大学人文科学研究月報』第128号、専修大学人文科学研究所
- 1990年3月 「変貌する都市の調査研究に向けて—首都圏の都市と若干の地方小都市を歩いて—」『専修社会学』第2号、専修大学社会学会
- 1992年2月 「変貌する都心空間と伝統的住居者層のライフスタイル—事例報告と若干の問題提起—」『専修人文論集』第49号、専修大学文学部紀要
- 1992年9月 「コミュニティ施設と地域的生活課題の諸相について—横浜市『地区センター』の機能的実態に関する調査報告として—」『専修人文論集』第50号、専修大学文学部紀要
- 1993年3月 「都市エスニック・コミュニティの形成と適応の位相について—特に横浜鶴見の日系人コミュニティを対象にして—」『社会科学年報』第27号、専修大学社会科学研究所
- 1993年4月 「ある調査の記録：フィールド日誌に見る鶴見の日系人世界—都市エスニック・コミュニティの形成と自己確証の行方—」（共同執筆：藤原法子）『専修大学社会科学研究所月報』No.358、専修大学社会科学研究所
- 1993年5月 「都市エスニック・コミュニティ研究の視点と方法」『専修大学社会科学研究所月報』No.359、専修大学社会科学研究所
- 1993年8月 「外国人労働者と教育—外国人児童生徒の抱える問題群とその提起するもの—」（共同執筆：奥田道大）『法学教室』No.155、有斐閣
- 1993年9月 「多文化コミュニティ形成の可能性と回路としての学校」『地域開発』No.348、日本地域開発センター
- 1994年3月 「都市とエスニシティ—エスニシティの都市社会学的接近とその意味をめぐって—」『人文科学年報』No.24、専修大学人文科学研究所
- 1994年5月 「都市社会学における異質性認識の展開と市民像の展開」『地域社会学年報第6集 転換期の地域社会学』地域社会学会
- 1995年4月 「都市雑業層の現代的展開と労働市場としての都市」『社会科学年報』第29号、専修大学社会科学研究所
- 1995年4月 「都市社会学の現代的課題」『地域社会学会会報』No.7、地域社会学会
- 1996年3月 「『場所』と『絆』—トランスナショナリズムの中の『都市』—」『現文研』第72号

- 1996年 5月 「都市コミュニティ論再定義の一文脈」『地域社会学会年報第8集 地域社会学の回顧と展望』地域社会学会
- 1998年 7月 「書評リプライ：都市コミュニティ論におけるエスニシティ研究の現在の文脈と課題」『日本都市社会学会年報』16、日本都市社会学会
- 1999年 3月 「都市エスニシティ論と『共同性』研究」『専修社会学』第11号、専修大学社会学会
- 2000年 3月 「都市エスニシティ論覚書」『専修社会学』第12号、専修大学社会学会
- 2000年10月 「都市とマイノリティ」『法哲学年報（特集 都市と法哲学）』（1999）日本法哲学学会
- 2001年 4月 “Current Research Task of Ethnic Communities” オックスフォード神戸大学国際シンポジウム（Immigration Policy in Japan, E.U. and North America）
- 2002年 9月 「都市エスニシティ論再考」『日本都市社会学会年報』20号、日本都市社会学会
- 2003年 3月 「日常の中のトランスナショナリズムと共存の諸課題—都市コミュニティ研究の現在の文脈—」『専修人文論集』第72号、専修大学文学部紀要
- 2004年 5月 「トランスマイグラントと都市」『環』17巻、藤原書店
- 2005年 3月 「『同化』研究の論理とトランスナショナリズム論」『専修人文論集』第76号、専修大学文学部紀要
- 2005年 3月 「グローバリゼーションの展開と都市研究の諸論点」『専修社会学』第17号、専修大学社会学会
- 2005年 3月 「都市社会学における『移動』と incorporation 研究の意味と事例—鶴見潮田におけるトランスナショナリズムの意味と事例—在日コリアン／沖縄出身者—」『現文研』第81号、専修大学現代文化研究会編
- 2005年 3月 「トランスナショナリズム論と都市世界—都市エスニシティ研究の意味世界—」『現代都市大阪の社会・教育・景観』（大阪市立大学大学院文学研究科プロジェクト研究「大阪市とハンブルク市をめぐる都市・市民・文化・大学」報告書）、大阪市立大学大学院文学研究科
- 2006年 3月 「エスニックな文化的世界形成と Mixed Community としての都市川崎の一位相」『専修社会学』第18号、専修大学社会学会
- 2006年12月 「テーマ別研究動向（移民研究）」『社会学評論』Vol.57, No.3 日本社会学会
- 2008年 9月 「都市社会はなぜエスニシティ研究をテーマ化したのか—トランスナショナリズム論からの新たな展開」『日本都市社会学会年報』26号、日本都市社会学会
- 2010年 3月 「トランスナショナリズムと『場所の政治』」『専修人文論集』第86号、専修大学文学部紀要
- 2010年 3月 「トランスナショナリズムと場所研究の現在の位相—差異と場所研究の見取図に関する覚書」『専修社会学』第22号、専修大学社会学会
- 2011年 3月 「『共生』論と初期シカゴ学派エスニシティ研究」『専修人間科学論集社会学篇』Vol.1, No.2
- 2012年 1月 「越境の都市的世界と場所への繋がり、場所の獲得—沖家室とホノルル・アアラ及びカカアコの越境者たち—」『専修大学人文科学研究所月報』第255号、専修大学人文科学研究所
- 2012年 3月 「日本人のグラスルーツ・トランスナショナリズムと場所への都市社会学的接近」『専修人間科学論集社会学篇』Vol.2, No.2
- 2013年 3月 「トランスナショナル・コミュニティ・パースペクティブの諸仮説」『専修人間科学論集社会学篇』Vol.3, No.2
- 2016年 3月 「Column 調査の達人 奥田道大—モノグラフのなかに都市社会の理論を求めて—」89

『社会と調査』No.16、社会調査協会

〔翻訳〕

- 1981年 6月 翻訳『社会学の方法と測定』（アーロン・シクレル著、下田直春監訳）「第1章 測定と数学」翻訳担当、新泉社
- 1983年 3月 翻訳『都市の理論のために—現代都市社会学の再検討』（共編訳：奥田道大・広田康生、多賀出版社
- 1990年12月 翻訳『シカゴ・ソシオロジー：1920-1932』（ロバート・E.L. フェアリス著：共編訳：奥田道大・広田康生）、ハーベスト社
- 1999年 5月 翻訳『ホーボー：ホームレスの人たちの社会学（上）』（N. アンダーソン）ハーベスト社
- 2000年11月 翻訳『ホーボー：ホームレスの人たちの社会学（下）』（N. アンダーソン）ハーベスト社

〔調査報告書等〕

- 1983年10月 調査報告書『高齢化社会の市民—高年齢者の生きがいと社会参加に関する調査報告書』「高齢化社会の市民アンケート調査」集計部分担当執筆（東京都生活文化局）
- 1985年 3月 『目黒区五十年史』（東京都目黒区編：磯村英一・奥田道大他）「第3章第1節」「第5章」「第12章」等執筆（東京都目黒区）
- 1985年 3月 調査報告書「東京・都心区の町内会—千代田区・中央区の町内会アンケート調査結果」集計部分担当（立教大学社会学部奥田研究室）
- 1985年10月 調査報告書『ニューサーティ（団塊の世代）の生活と意識に関する調査研究報告書』（編：奥田道大・大森彌・佐藤健二・吉見俊也他）「ニューサーティの地域・都市生活」担当執筆（東京都生活文化局）
- 1986年 3月 調査報告書『ニューサーティの生活と意識に関する調査報告書（資料編）』集計部分担当（日本地域開発センター）
- 1987年 3月 『地域からのメッセージ—板橋コミュニティ白書』（東京都板橋区編：奥田道大・大森彌他）「第2部担当」執筆（東京都板橋区企画課）
- 1988年 3月 「町内会・自治会の現状と課題」日本地域開発センター編『コミュニティ活動推進調査（東京都板橋区）』日本地域開発センター
- 1993年 3月 『横浜市コミュニティ行政基礎調査』（横浜市企画財政局企画調整室編：林泰義・名和田是彦・広田康生他 共同執筆）
- 1996年 3月 『国際文化都市ヨコハマの再生に関する調査報告書』（横浜市海外交流協会編：広田康生・新原道信・奥田道大・鈴木久美子・藤原法子）「調査票調査の結果から」執筆
- 1998年 3月 『多文化社会の行方—日米比較文化の視点』40p～60p、横浜市海外交流協会

〔辞書・事典等〕

- 1993年 2月 『新社会学辞典』（編集代表 森岡清美、塩原勉、本間康平）、辞典項目7「新都市社会学」「遷移地帯」「R.E.L. フェアリス」等7項目執筆（有斐閣）
- 1997年 1月 『異文化コミュニケーション・ハンドブック』（石井・久米・御堂岡他編）、事典項目「異文化が共生できる社会」「エスニック・ネットワーク」「外国人労働者問題」「共生」「多文化教育」「ライフヒストリー」他9項目執筆（有斐閣）
- 1997年 3月 『新来・定住外国人がわかる辞典』（駒井洋他編）、事典項目「多文化主義」「多文化共生」「エスニック・ネットワーク」等4項目執筆（明石書店）

- 2000年5月 『キーワード地域社会学』（地域社会学会編）、事典項目「エスニシティ研究」「エスニック・コミュニティ」「解説 リージョンとコミュニティ」等執筆（ハーベスト社）
- 2011年5月 『新版 キーワード地域社会学』（地域社会学会編）、事典項目「エスニック・コミュニティ」「エスニシティ研究」執筆（ハーベスト社）
- 2015年11月 『人の移動事典』（吉原和夫他編）、事典項目「トランスナショナル・コミュニティとクレオール化する社会」執筆（丸善出版）
- 2017年6月 『コミュニティ事典』（伊藤守・小泉秀樹・似田貝香門他）、事典項目「エスニック・コミュニティ研究」執筆（春風社）

〔書評〕

- 1995年6月 書評 「越境する人々／メディア／共生の行方—白水繁彦著『エスニック・メディア』が提起する問題—」『国際人流』第109号（財団法人入管協会編）
- 1999年2月 書評 名和田是彦著『コミュニティの法理論』『図書新聞』
- 1999年3月 書評 浅野慎一著『日本で学ぶアジア系外国人』『社会学評論』Vol.52, No.3
- 2002年3月 書評 川合隆男・藤田弘夫編『都市論と生活論の祖型』『社会学評論』Vol.52, No.3
- 2004年9月 書評 イライジャ・アンダーソン著『ストリート・ワイズ』（奥田道大・奥田啓子訳、ハーベスト社）『日本都市社会学会年報』22号、日本都市社会学会
- 2010年9月 書評 吉原直樹著『モビリティと場所』東京大学出版会『日本都市社会学会年報』28、日本都市社会学会
- 2013年5月 書評 大倉健宏著『エッジワイズなコミュニティ』『地域社会学会年報』第25集、地域社会学会
- 2015年5月 書評 新原道信編『“境界領域”のフィールドワーク—“惑星社会の諸問題”に対応するために—』『地域社会学会年報』第27集、地域社会学会
- 2016年9月 書評 谷富夫著『民族関係の都市社会学』『社会学評論』Vol.67, No.2.

〔口頭報告〕

- 1984年2月 「都市社会学の研究動向と課題」地域社会学会（第3回研究会報告）
- 1985年4月 「都市社会学と住民組織」地域社会学会 第10回大会自由報告（於：東京農工大学）
- 1985年11月 「地域社会とコミットメントの変容的側面」日本社会学会 第58回大会自由報告（於：横浜市立大学）
- 1987年6月 「住民組織から見た地域」関東社会学会 第35回大会シンポジウム報告（於：立教大学）
- 1993年5月 「都市コミュニティ論における異質性認識の系譜と市民像の展開」地域社会学会 第18回大会シンポジウム報告（於：成蹊大学）
- 1993年6月 「外国籍児童の自己形成と地域の異質性認識」日本都市社会学会第11回大会自由報告（於：関西大学；藤原法子と共同発表）
- 1994年6月 「エスニック・コミュニティの形成と都市の条件」日本都市社会学会第12回大会テーマ部会報告（於：名古屋大学）
- 1995年2月 「外国人労働者問題の展開と都市雑業層の構造変化をめぐって」地域社会学会平成6年度第5回研究会報告（於：東京大学）
- 1996年6月 「越境者とその世界—都市エスニシティ研究が意味するもの—」日本都市社会学会第14回大会テーマ部会報告（於：鹿児島大学）
- 2001年4月 「Current Task of Ethnic Communities」オックスフォード大学・神戸大学シンポジウム

- 「日本、アメリカ、ヨーロッパにおける移民政策」(於：神戸大学)
- 2007年 9月 「都市社会学はなぜエスニシティをテーマ化したのか—都市エスニシティ論のパラダイム再検討と新たな研究領域をめぐって」日本都市社会学会第25回大会 (於：山口大学)
- 2009年 9月 「ローカルアイデンティティ・ポリティクスの展開と共生の意味世界」日本都市社会学会第27回大会 (於：県立広島大学)

[筆者の著書・編著・論文等へのご批評・ご翻訳等]

(特に学会誌の書評や著書を中心に感謝を込めて一部のみ掲載)

- 1998年 2月 「書評 廣田康生『エスニシティと都市』」(新原道信)『地域開発』No.501
- 1998年 7月 「書評論文 廣田康生『エスニシティと都市』」(波平勇夫)『日本都市社会学会年報』16号
- 2004年 9月 「書評 渡戸一郎・廣田康生・田嶋淳子編著『都市的世界／コミュニティ／エスニシティ』」(伊藤泰郎)『日本都市社会学年報』22号
- 2005年 6月 「研究動向 分野別研究動向 (都市)」(中筋直哉)『社会学評論』Vol.56, No.1
- 2005年 6月 「研究動向 分野別研究動向 (地域)」(黒田由彦)『社会学評論』Vol.56, No.1
- 2006年12月 「研究動向 分野別研究動向 (移民・エスニシティ・ナショナリズム)」(樋口直人)『社会学評論』Vol.57, No.3
- 2007年 9月 「書評 廣田康生・町村敬志・田嶋淳子・渡戸一郎編『先端都市社会学の地平』」(西澤晃彦)『日本都市社会学会年報』25号
- 2010年 8月 「評論(論文) 都市エスニシティ研究の再構築に向けて—都市社会学は何をみないできたのか—」(樋口直人)『年報社会学論集』第23号
- 2017年 3月 「会報報告 第10回地域社会学会賞の選考過程と講評 (廣田康生・藤原法子『トランスナショナル・コミュニティ』)(学会賞選考委員会)「地域社会学会会報」No.201
- 2017年 9月 「書評 廣田康生・藤原法子『トランスナショナル・コミュニティ』」(山本薫子)『日本都市社会学会年報』35号、等々。

*なお、著書や翻訳に関しては、特に長文のご評論の4本の著書と、一本のご翻訳についてのみ掲載。

- 2005年 2月 梶田孝道・丹野清人・樋口直人『顔の見えない定住化』名古屋大学出版会
- 2008年12月 「サブカルチャーの視点 C.S.フィッシャー『アーバニズムの下位文化理論に向かって』(1975: 翻訳=廣田)」(松本康)、井上俊・伊藤公雄編『社会学ベーシックス4 都市的世界』世界思想社
- 2008年12月 「ホームレスの世界 N. アンダーソン『ホーボー』(1923): 翻訳=廣田」(平川茂)井上俊・伊藤公雄編『社会学ベーシックス4 都市的世界』世界思想社
- 2010年 9月 「外国人 奥田・広田・田嶋編『外国人居住者と日本の地域社会』」(1994) (俵希寛)、井上俊・伊藤公雄編『社会学ベーシックス10 日本の社会と文化』世界思想社
- 2015年 5月 谷富夫『民族関係の都市社会学』ミネルヴァ書房等々。
- 2005年 3月 翻訳『移民和城市』(=廣田康生著『エスニシティと都市』)(翻訳主編 周維宏: 翻訳馬銘) 商務印書館出版

(以上、感謝を込めて)